

ASDAR システム

静止気象衛星「ひまわり」の機能の一つに、船舶や航空機等で観測した気象観測データを収集し、地上の処理局（気象衛星センター）に送信してくる重要なミッションがある。

世界中を飛行する航空機の観測データは、高層観測データの一つとして、貴重である。

ASDAR システム（Aircraft to Satellite Data Relay システム）は、航空機に搭載されたデータ伝送システムである。航空機が飛行中に取得する観測データ（測定システムは従来と変わらない）は自動的に ASDAR に記憶され、一定時間毎に、静止気象衛星にデータ伝送が行なわれる。

日本、米国および欧州宇宙機構（ESA）等が協力して整備した静止気象衛星網が、ASDAR データ収集責任範囲を分担しあっているため、航空機の飛行に伴い、全航路のデータが収集可能となっている。日本の収集責任範

囲は、 $60^{\circ}\text{E}\sim 180^{\circ}\text{E}$ である。

7.5分毎に、緯度・経度、観測時刻、高度、気温、風向および風速が測定され、1時間で8個のデータが ASDAR システムに記憶される。毎時各航空機毎に定められている送信開始時刻になると、自動的にデータ送信が開始され、静止気象衛星経由で地上処理局にデータが送られてくる。受信データは、WMO の AIREP コードに変換され、GTS に入力される。

気象衛星センターでは、昭和53年9月からデータ収集テストを始め、昭和54年1月11日から運用を開始し、収集データを ADESS を介し、GTS に入力している。送信した通数は、昭和54年1月2968通、2月2544通、3月7896通であり、今後は ASDAR システムの搭載機数が増加すると共に通数も増加しよう。

（気象衛星センター）

気象学会および関連学会行事予定

| 行 事 名 | 開 催 年 月 日 | 主 催 団 体 等 | 場 所 |
|--|----------------|------------|-----------|
| 日本気象学会関西支部 第1回夏季大学「新しい 気象学」大阪教室 | 昭和54年8月1日～3日 | 日本気象学会関西支部 | 大阪市立労働会館 |
| 気候変動に関するシンポ ジウム—雲と放射の問題 点を中心にして— | 昭和54年8月24日 | | 気象庁講堂 |
| 第2回 MONEX 研究会 | 昭和54年8月30日～31日 | CARP 分科会 | 東京大学海洋研究所 |
| 月例会「大気数値シミュ レーション」 | 昭和54年9月5日 | 日本気象学会 | 気象庁第1会議室 |
| 気候変動に関するシンポ ジウム—海の問題を中心 にして— | 昭和54年9月13日 | | 気象庁講堂 |

（426頁へつづく）

月例会「大気数値シミュレーション」(第1回)のプログラム

標記月例会の設立の主旨については、本誌6月号でお知らせしました。第1回の月例会は、大気境界層の問題を取り上げ、下記のプログラムにより開催します。

記

日時 1979年9月5日(水) 13.30

場所 気象庁(5階)第1会議室(予定)

講演題目

1. 中村晃三, 浅井富雄(東京大学海洋研究所): 気団変質過程の数値実験
2. 山岸米二郎(気象庁電子計算室): 鉛直分解能の密なモデルによる日本海の気団変質のシミュレーション
3. 時岡達志, 山崎孝治(気象研究所): 気象研究所大気大循環モデル(MRI-GCM)に用いられる大気境界層モデル

昭和54年度化学技術賞受賞候補者の推せん募集

1. 日本化学会から気象学会理事長宛に、昭和54年度化学技術賞受賞候補者の推薦依頼がきました。当学会にとっては今回初めての依頼ですが、この賞は昭和26年に制定され、化学工業技術の発展にとくに顕著な業績に対して授与されています。受賞者は化学会の会員に限られません。また、個人を対象としますが、同一化学技術の業績について連名で受賞することもできます。同一人が、異なった化学技術の業績について、重ねて受賞することもできます。

2. 推薦にあたっては、参考資料(論文別刷、特許公報等)が各3部必要です。

3. 締切: 昭和54年8月末日

4. 推薦希望者は、下記担当理事まで御連絡下さい。

記

〒100 千代田区大手町 1-3-4

気象庁予報部電子計算室

新田 尚

電話 (03) 212-8341 内線449

気象学会および関連学会行事予定

(412頁のつづき)

| 行 事 名 | 開 催 年 月 日 | 主 催 団 体 等 | 場 所 |
|------------------------|-------------------|-------------|------------|
| 第16回自然災害科学シンポジウム | 昭和54年9月23日~24日 | | 日本大学工学部 |
| 昭和54年日本気象学会秋季大会 | 昭和54年10月24日~26日 | 日本気象学会 | 電気ビル(福岡市) |
| 第17回粉体に関する討論会 | 昭和54年10月24日~26日 | | 栃木県商工会館 |
| 第26回風に関するシンポジウム | 昭和54年10月30日 | | 農業技術研究所講堂 |
| 第6回レーザ・レーダ(ライダー)シンポジウム | 昭和54年11月8日~9日 | レーザ・レーダ研究会 | ホテル伊豆高原 |
| 第5回リモートセンシングシンポジウム | 昭和54年11月27日~28日 | (社)計測自動制御学会 | 機械振興会館 |
| 国際統計気候学会議 | 昭和54年11月29日~12月1日 | | 八王子セミナーハウス |